

【認知症介護実践リーダー研修標準カリキュラム】①(3,780 分)

1日目	時間	研修項目	研修内容	講師等
時刻	510分			
9:30~10:30	60分	研修のねらい	・研修の目的、目標の明示 ・目的、目標とカリキュラムの関係を明示 ・研修の機会を主体的、積極的に自己学習の場として活用する意義	認知症介護指導者
10:40~12:40	120分	生活支援のための認知症介護のあり方	・従来の認知症介護の歴史と課題、方向性を明示 ・認知症の人の生活障害の確認 ・「その人らしく」生活する意味について、介護現場を振り返り権利擁護の視点から考える ・「自立支援」と介護の関係	認知症介護指導者
12:40~13:40	60分	昼休み		
13:40~16:40	180分	介護現場の理念の構築	・自分の職場の理念を振り返り、職場の中での介護理念の重要性について理解 ・介護理念を形骸化させずに明確し、共有していくことの大切さを理解 ・介護理念を共有していくためのリーダーとしての役割とその重要性を理解	認知症介護指導者
16:50~18:20	90分	研修参加中の自己課題の設定	・研修中の課題設定 ・課題を文章として示す	認知症介護指導者
18:30~19:30	60分	振り返り	・交流会によるネットワークづくり ・メンバーが研修の感想や情報交換	認知症介護指導者

2日目	時間	研修項目	研修内容	講師等
時刻	500分			
9:00~12:00	180分	介護現場の認知症介護のあり方に関するアセスメント	・支援者に求められる職業的倫理・価値観の理解、介護理念に基づいた認知症介護の重要性を再確認 ・課題を解決していくためのリーダーとしての考え方と取り組み方 ・課題解決に向けてのチームケアを動かすリーダーの責任と心構え	認知症介護指導者
12:00~13:00	60分	昼休み		
13:00~15:00	120分	実践リーダーの役割と視点	・チームケアとは何か ・チームケアのあり方 ・リーダーシップについて ・演習「介護現場におけるリーダー像とは」	認知症介護指導者
15:10~18:10	180分	高齢者支援のための家族支援の方法	・家族の理解(介護をめぐる家族意識、形態等の変化を学び、また認知症が家族にどう影響を与えるのかについて理解) ・家族のたどる心理的ステップを理解し、支援者としてどのように関わっていくか(家族とのコミュニケーション、情報提供のあり方)を考える	認知症介護指導者
18:10~18:30	20分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換	

3日目	時間	研修項目	研修内容	講師等
時刻	440分			
9:00~12:30	210分	サービス展開のためのリスクマネジメント	・認知症の人に対する介護理念の確認 ・拘束、虐待の定義と具体的内容と対応方法 ・介護場面における権利擁護の理解 ・リスクについての基本的理解 ・生活場面において生じる認知症の人のリスク ・リスクマネジメントの基本的な考え方 ・リスクの予測、回避のための対応策(分析・評価)等の技能を身につける ◎防災のために日常業務で留意すること ◎避難訓練の方法や留意事項など	認知症介護指導者
12:30~13:30	60分	昼休み		
13:30~17:00	210分	介護現場の環境を整える方策	・職場内の人間関係 ・職場内のストレス ・ストレスとは何か ・ストレスを感じる「心」とは ・職場のメンタルヘルス ・演習における講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解	認知症介護指導者
17:00~17:20	20分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換	

4日目	時間	研修項目	研修内容	講師等
時刻	480分			
9:00~12:00	180分	地域資源の活用の展開	・公的、非公的地域資源の内容 ・地域資源との連携の方法 ・演習における講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解 ・演習は90分以上 ◎地域住民との協力体制づくり ◎連絡調整会議の活用方法など	認知症介護指導者
12:00~13:00	60分	昼休み		
13:00~14:30	90分	人材育成の考え方	・人材育成の目的や理解 ・具体例の提示 ・具体例を通しての方法、工夫店の提示 ・人材育成の重要性と課題	認知症介護指導者
14:40~16:10	90分	人材育成の企画立案と伝達・表現方法 I	・研修カリキュラムの企画立案の方法 ・講義、演習、指導等の方法 ・効果的な企画立案、講義、演習、指導等の意義と重要性 ・事後評価について ・演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解	認知症介護指導者
16:20~17:50	90分	人材育成の企画立案と伝達・表現方法 II	・研修カリキュラムの企画立案の方法 ・講義、演習、指導等の方法 ・効果的な企画立案、講義、演習、指導等の意義の重要性 ・事後評価について ・演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解 ・演習は60分以上(例:マンダラシート)	認知症介護指導者
17:50~18:20	30分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換	

【認知症介護実践リーダー研修標準カリキュラム】②

5日目	時間	研修項目	研修内容	講師等	
時刻	450分				
9:30~12:30	180分	スーパービジョンとコーチングⅠ	・スーパービジョンとコーチングの関係 ・スーパービジョンの定義 ・スーパービジョンの内容と方法 ・コーチングの定義 ・コーチングの内容と方法 ・演習における講義内容の理解と具体的な援助方法の体験的理解	認知症介護指導者	
12:30~13:30	60分	昼休み			
13:30~17:30	240分	スーパービジョンとコーチングⅡ	・スーパービジョンの内容と方法 ・コーチングの内容と方法 ・演習による講義内容の理解と具体的な技法の体験的理解	認知症介護指導者	
17:30~18:00	30分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換		

6日目	時間	研修項目	研修内容	講師等	
時刻	500分				
9:00~11:00	120分	効果的なケースカンファレンスの持ち方	・ケースカンファレンスの内容 ・事例提示の方法 ・施設、事業所の現状把握 ・演習(模擬カンファレンス)による具体的な展開方法の体験的理解	認知症介護指導者	
11:10~12:10	60分	人材育成のための事例演習Ⅰ	・人材育成に必要な技法について復習 ・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる事例の提示	認知症介護指導者	
12:10~13:10	60分	昼休み			
13:10~15:10	120分	人材育成のための事例演習Ⅰ	・人材育成に必要な技法について復習 ・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる事例の提示	認知症介護指導者	
15:20~18:20	180分	人材育成のための事例演習Ⅱ	・人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることができる演習 ・具体的事例を使い演習(例:ロールプレイ演習)	認知症介護指導者	
18:20~18:40	20分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換		

7日目	時間	研修項目	研修内容	講師等	
時刻	420分				
9:00~10:30	90分	事例演習展開のための講義	・事例演習の意義、方法について	認知症介護指導者	
10:40~12:40	120分	チームケアのための事例演習Ⅰ-1	・演習「事例演習を行う際の問題点と解決方法」をグループ討議して発表	認知症介護指導者	
12:40~13:40	60分	昼休み			
13:40~16:40	180分	チームケアのための事例演習Ⅰ-2	・演習「事例演習使用する事例を提供するためのフェイスシート」をグループで検討して発表	認知症介護指導者	
16:40~17:10	30分	振り返り	・グループ毎にメンバーがこの日の研修の感想等について意見交換する ・メンバー間の情報交換		

8日目	時間	研修項目	研修内容	講師等	
時刻	480分				
9:00~12:00	180分	チームケアのための事例演習Ⅱ-1	・演習「認知症介護についての事例演習を行うための演習事例」をグループで討議して発表	認知症介護指導者	
12:00~13:00	60分	昼休み			
13:00~15:00	120分	チームケアのための事例演習Ⅱ-2	・演習「事例演習で学んだこと」をグループで検討して発表	認知症介護指導者	
15:10~17:10	120分	実習課題設定	・自己の研修課題と研修の成果に基づいた実習目標の設定 ・他施設の見学実習、職場実習の目標設定の際の、実習展開例(別に添付)を提示する ・本研修の目的に沿っていること	認知症介護指導者	
17:10~18:10	60分	振り返り	・研修全体を振り返り、講義内容や演習を通して習得した成果について確認する		

【実践リーダー研修実習カリキュラム】

実習	時間	目的	内容
実習1:外部実習	3日	他の介護保険事業場への3日間の体験実習を通して、自己の設定した課題を達成し、その成果を得る	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習2:職場実習	4週間	職場での4週間の実習を通して、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得る	・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿っていること
実習結果報告まとめ	1日	実習が設定した課題に沿って実施できたかを各自で振り返り、報告し、実習課題がどの程度達成できたかを評価する	・実習課題に沿った実習展開の結果を整理し、報告する ・研修全体の自己評価の実施 ・他研修生の自己評価の確認